

品 名： G-NATURE ノンスリップオイル

品 番： I G - 2 1

玄々化学工業株式会社

< ご利用に当たって >

本製品は、木質素材に被膜を作らず木肌を強調し、木質感のある風合いを活かすための浸透型処理剤で、高光沢仕上げを追求した製品ではありません。塗布量、専用うすめ液の使用など定められた使用方法に従って塗装下さい。

[屋内木製品の浸透型油性系自然塗料]

本製品は、トルエン、キシレンのような健康に有害な成分を含まない植物系材料からなるエコロジカルな木材用コーティング剤です。木材の木質感を引き立たせ、自然な風合いを保つとともに、木材の調湿機能を阻害することなく、快適な室内環境造りに配慮した製品です。

用 途： 屋内の木部、吸い込み素材に対する吸い込み止め、撥水性付与、手垢防止性、すべり抵抗性を付与する植物油系表面処理剤です。
 なお、水のかかる頻度が高い場所への使用は白シミを生じることがありますので十分ご留意下さい。

特 徴： ・多孔質素材への浸透型処理剤で、透明で自然な木材の木理を損なうことなく、塗膜の滑り性を大幅に抑制した触感が得られ、しっとり落ち着いた自然な風合いを生かした仕上がり感が得られます。
 ・塗膜は撥水性を付与するとともに、水蒸気透過性があり木材の持つ調湿機能を妨げることがなく結露防止にも有効です。

使用方法：

希釈および洗浄： 専用うすめ液をご使用下さい。

塗装方法： 刷毛塗り、スプレー

標準塗装配合： I G - 2 1 100部
 専用うすめ液 70～80部

主剤比重： 0.85 (25℃)

標準使用量： 30～40 g/m² (うすめ液で希釈した塗料を使用したウエット塗付量)
 (厚塗りは乾燥不良により、長期間ベトツキ感が残りますのでご注意下さい)

塗布回数： 1～2回

乾燥時間： 指触乾燥 4時間

(20℃) 梱包乾燥および塗り重ね可能時間 24時間以上

※ 低温、高湿度条件のもとでは乾燥が著しく遅くなります。
 また、短時間で塗り重ねをしても耐汚染性、耐水性の向上にはなりませんので十分な乾燥インターバルを設けてください。

使用上の注意：

- ・ 塗料のしみ込んだ布、スポンジなどは多量に重ね置きしておくと発熱により自然発火する恐れがあるので広げて乾燥させるか、水を張った金属容器に漬けて保管し早めに焼却等処分をしてください。
- ・ 塗っている最中及び塗った後は換気に注意し、風通しの良い場所でよく乾燥させてください。(油性系塗料は乾燥過程で微量のホルムアルデヒドが発生する性状があります)
- ・ 床など広い面積に塗る場合は、よく乾くまで換気に充分注意下さい。
- ・ 素材にタンニン成分が多量に含まれる場合には塗装数日後に変色を生じることがあります。予め試し塗りをして確認のうえご使用下さい。
- ・ 乾燥した、涼しい火気のないところに容器を密閉して保管して下さい。
 幼児の手の届かない所に保管し、子供が誤飲、誤食をしないようご注意下さい。

- 使用上の注意：**
- ・ 塗装作業は10℃以上の気温を保って下さい。低温時や高湿度条件化では塗料の性質上乾燥性が著しく悪くなります。
 - ・ 金属粉などが表面に付着していると、塗面が黒く変色しシミになることがあります。研磨時にはスチールウールを使用することは避けて下さい。
 - ・ 余った塗料は廃棄しないで別容器に密閉保管し、補修用の場合などに使用して下さい。
 - ・ 可燃性ですので火気のある場所での使用、保管は絶対に避けて下さい。
 - ・ 塗装及び乾燥中は換気をよくし、養生乾燥中も換気を十分行うよう注意して下さい。
 - ・ 塗装時は保護マスク、手袋を着用するとともに養生中も十分に換気を行って下さい。

[塗 装 方 法]

1. 木材素地を強化する効果を出すために、IG-21を薄く均質に塗布浸透させます。
この際、一度に多量のオイルを塗布することは乾燥不良や導管からのオイルの吹き出しによる仕上がり不良の原因となりますのでご注意ください。
IG-21は素材の吸収性に依じて1～2回塗装して下さい。
2. 2回塗り仕上げをする場合は、IG-21 塗装後24時間以上乾燥させてから行って下さい。

メンテナンスおよび補修塗装

オイル仕上げ製品のお手入れについて

- ・ IG-21で仕上げた塗面は、汚れ、湿気、温度（120℃程度）に対して抵抗性があります。しかしながら、長期間の継続使用により表面劣化に至りますので定期的にお手入れして下さい。
- ・ 家具などは、水気のある場所から離してご使用下さい。

1. インキや水のシミが残ってしまった場合：

軽度のしみは汚れを洗浄した後、ナイロンペーパーで表面を擦り、IG-21を薄く塗り広げ、乾燥するまで（一晚以上）放置下さい。この際、薄め液の稀釈量が少ない場合や塗布量が多い場合には乾燥不良でベトツキが残りますのでご注意ください。よりひどいシミの場合は、サンドペーパー（＃220～＃240）で塗面を研磨してシミを削り取り、IG-21を塗布し、24時間後に2回目を塗布し仕上げして下さい。

いずれも厚塗りは乾燥不良の原因となりますのでご注意ください。

2. 打ち傷、擦り傷がついた場合：

表面の膜が傷ついた程度の軽微な場合は、ナイロンペーパーで軽く研磨した後でIG-21を薄く塗り延ばし乾燥するまで（一晚以上）放置して下さい。

少し目立つ傷ができた場合は、傷の部分をサンドペーパー（＃150～＃180）で研磨した後IG-21を薄く浸透塗布し、24時間乾燥後に再塗装します。

さらに傷が深い場合は、先ずサンドペーパー（＃220～＃240）で周囲のオイルを研磨し取り除きます。次に素地部分に水または熱湯をかけ十分素地を膨潤させた後、水で湿らせたタオル類を押し当てアイロンをかけます。水蒸気によって木が膨潤し、復元します。根気よく繰り返すことによりかなり回復します。乾燥後同様に、サンドペーパー（＃220～＃240）で研磨してからIG-21で仕上げます。